2 セットアップ

本体の設置からお使いになれる状態にするまでの手順について説明します。また、装置を再セットアップする場合もここに記載している説明を参照してください。

設置と接続(→24ページ) .... 本体の設置から背面のコネクタへの接続まで本体の電源をONにできる状態にするまでの手順について説明します。

初めてのセットアップ(→28ページ) .... システムを使用できるまでのセットアップ手順について説明しています。ここでは必要最低限のセットアップのみを説明しています。お客様のお使いになられる環境に合わせた詳細なセットアップについては第3章で説明しています。

管理PCのセットアップ(→34ページ) .... ネットワーク上のコンピュータからシステムの管理・監視をするバンドルアプリケーションのインストール方法について説明しています。

再セットアップ(→35ページ) .... システムを再セットアップする方法について説明しています。

設置と接続

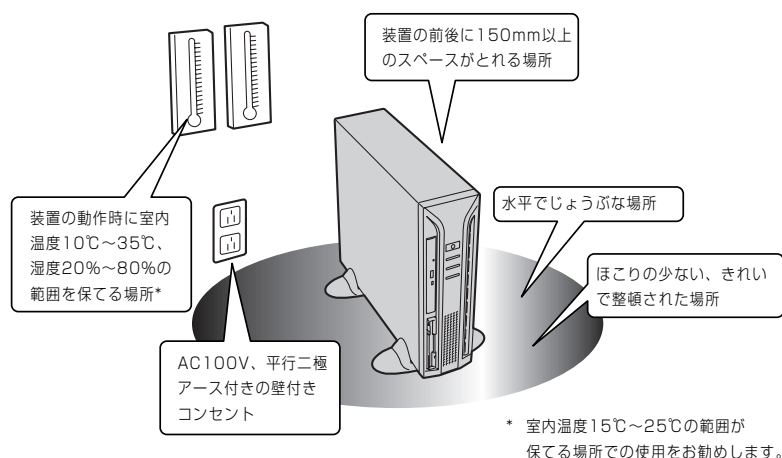
本体の設置と接続について説明します。

設　置

注意

装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、iiiページ以降の説明をご覧ください。

- **指定以外の場所に設置しない**

本体の設置にふさわしい場所は次のとおりです。設置場所が決まったら、設置場所にゆっくりと静かに置いてください。

次に示すような場所には設置しないでください。これらの場所に本装置を設置すると、誤動作の原因となります。

温度変化の激しい場所（暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く）。

強い振動の発生する場所。

腐食性ガスの発生する場所、薬品類の近くや薬品類がかかるおそれのある場所。

帯電防止加工が施されていないじゅうたんを敷いた場所。

物の落下が考えられる場所。

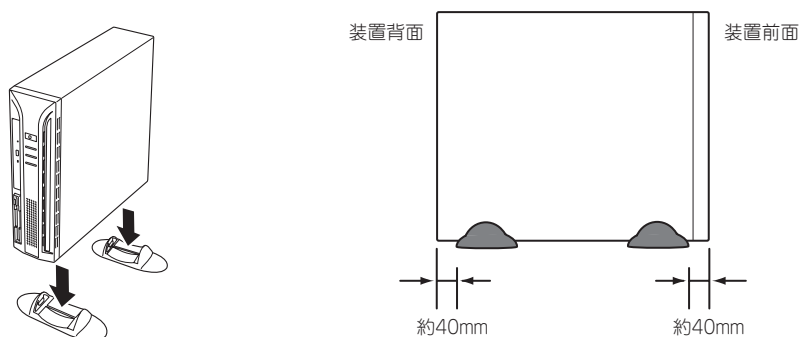
電源コードまたはインタフェースケーブルを足で踏んだり、引っ掛けたりするおそれのある場所。

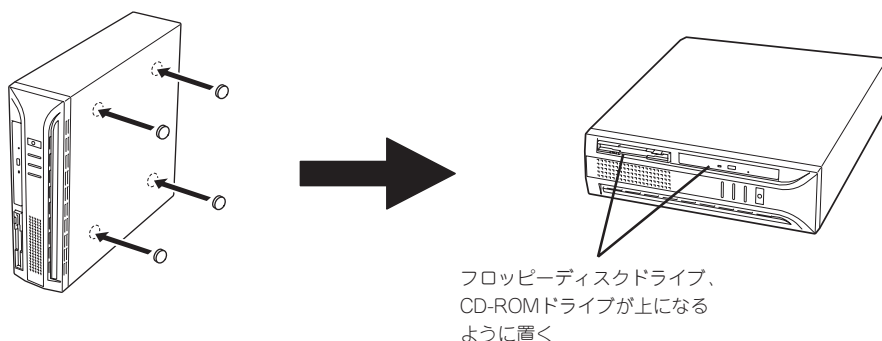
強い磁界を発生させるもの(テレビ、ラジオ、放送/通信用アンテナ、送電線、電磁クレーンなど)の近く(やむを得ない場合は、保守サービス会社に連絡してシールド工事などを行ってください)。

本装置の電源コードを他の接地線(特に大電力を消費する装置など)と共用しているコンセントに接続しなければならない場所。

電源ノイズ(商用電源をリレーなどでON/OFFする場合の接点スパークなど)を発生する装置の近くには設置しないでください。(電源ノイズを発生する装置の近くに設置するときは電源配線の分離やノイズフィルタの取り付けなどを保守サービス会社に連絡して行ってください。)

本体は縦置きでも横置きでも設置することができます。

縦置きにする場合は、図のように本体を立てて、添付のスタビライザで固定してください。

横置きにする場合は、添付のゴム足(4個)を底面に貼り付けてから置いてください。

セットアップ

接　続

本体をネットワークに接続します。
ネットワークケーブルを本体に接続してから添付の電源コードを本体に接続し、電源プラグをコンセントにつなげます。

⚠警告

装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。詳しくは、iiiページ以降の説明をご覧ください。

- ぬれた手で電源プラグを持たない
- アース線をガス管につなげない

⚠注意

装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、iiiページ以降の説明をご覧ください。

- 指定以外のコンセントに差し込まない
- たこ足配線にしない
- 中途半端に差し込まない
- 指定以外の電源コードを使わない
- プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない
- 指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

重要

- 本体および接続する周辺機器の電源をOFFにしてから接続してください。ONの状態のまま接続すると誤動作や故障の原因となります。
- NEC以外(サードパーティ)の周辺機器およびインタフェースケーブルを接続する場合は、お買い求めの販売店でそれらの装置が本装置で使用できることをあらかじめ確認してください。サードパーティの装置の中には本装置で使用できないものがあります。

無停電電源装置(UPS)を導入し、電源制御システムの構築を検討されている場合は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください

シリアルインタフェース機器（UPSなど）

1

シリアルインタフェースを持つ装置（管理PCなど*）

2

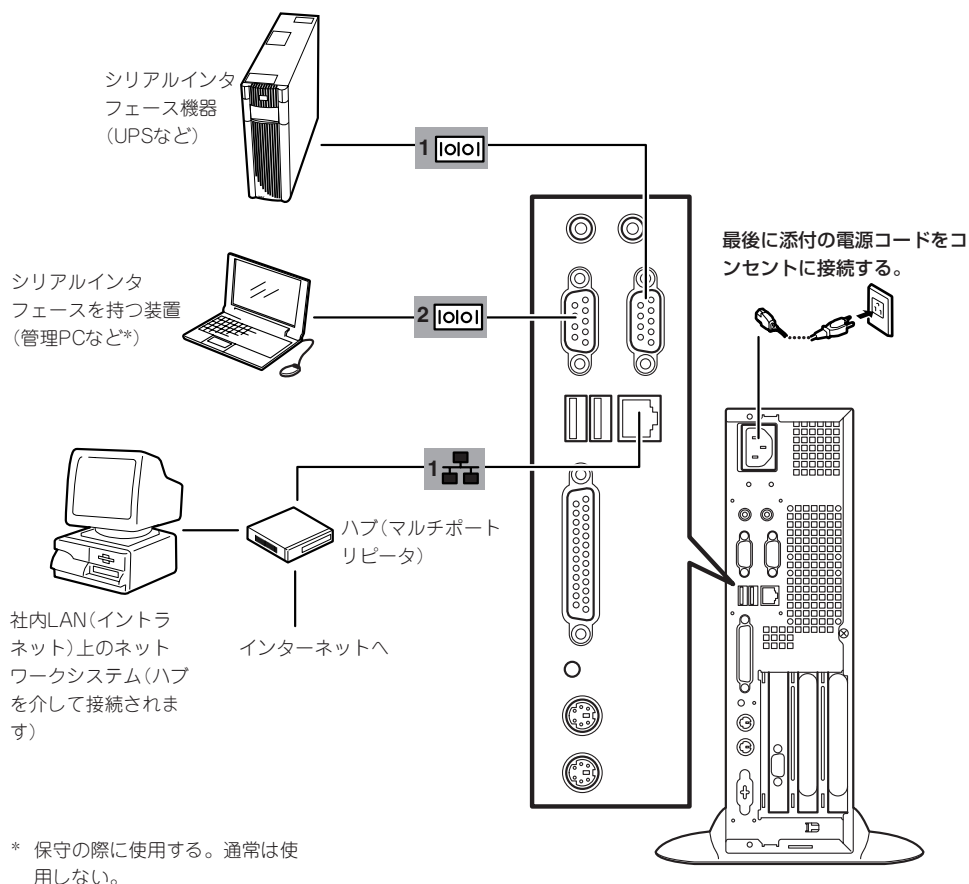
最後に添付の電源コードをコンセントに接続する。

1

ハブ（マルチポートリピータ）

社内LAN（イントラネット）上のネットワークシステム（ハブを介して接続されます）

インターネットへ

* 保守の際に使用する。通常は使用しない。

ネットワークに接続する前に次の点について確認してください。

- LANのネットワーク設定

  本装置に割り当てるIPアドレスやネットワーク環境について確認してください。

- ネットワーク機器

  必要なルータ、ハブ、ケーブルが準備されていることを確認してください。また ISPとの接続に用いるルータもしくはダイヤルアップルータに、あらかじめインターネット接続に必要な設定を行い設置しておいてください（イントラネットで用いる場合は必要ないこともあります）。

- クライアントマシン

  本装置とは別に、Windows XP、Windows 2000、Windows NT、またはWindows Me/98/95のいずれかのWindows OSが利用可能なクライアントマシン（PC）を用意してください。最低限の初期設定を行うための「初期導入設定ツール」の実行に利用します。

以上で本体の電源をONにできる状態になりました。購入後、初めて本体の電源をONにする場合は、この後の「初めてのセットアップ」をご覧ください。再セットアップの場合は、35ページの「再セットアップ」を参照してください。

初めてのセットアップ

購入後、初めてシステムをセットアップする時の手順について順を追って説明します。

初期導入設定用ディスクの作成

「初期導入設定用ディスク」は装置をインターネットキャッシュサーバとして導入するために最低限必要となる設定情報が保存されたセットアップ用のフロッピーディスクです。

「初期導入設定用ディスク」は、添付の初期導入設定用ディスクにある「初期導入設定ツール」を使って作成します。初期導入設定ツールは、Windows XP、Windows 2000、Windows NT、またはWindows Me/98/95で動作するコンピュータで動作します。

初期導入設定プログラムの実行と操作の流れ

Windowsマシンを起動して、次の手順に従って初期導入設定用ディスクを作成します。

1. Windowsマシンのフロッピーディスクドライブに添付の初期導入設定用ディスクをセットする。
2. フロッピーディスクドライブ内の「初期導入設定ツール(CSNConf.exe)」をエクスプローラなどから実行する。

   [初期導入設定ツール]が起動します。プログラムは、ウィザード形式となっており、各ページで設定に必要事項を入力して進んでいきます。

   必須情報が入力されていない場合や入力情報に誤りがある場合は、次へ進むときに警告メッセージが表示されます。項目を正しく入力し直してください。入力事項については、この後の説明を参照してください。

   すべての項目の入力が完了すると、フロッピーディスクに設定情報を書き込んで終了します。
3. 初期導入設定用ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、「システムのセットアップ」に進む。

   初期導入設定用ディスクは再セットアップの際にも使用します。大切に保管してください。

各入力項目の設定

［初期導入設定ツール］で入力する項目について説明します。

パスワード設定画面

システムのセットアップ完了後、クライアントマシンからWebブラウザを介して、システムにログインする際のパスワードを設定します。この画面にある項目はすべて入力しないといけません。
パスワードは推測されにくく覚えやすいものを用意してください。

パスワードは画面に表示されません。タイプミスをしないよう注意してください。

管理者パスワード

初めて設定する場合は、同梱の別紙「rootパスワード」に記載されたパスワードを入力してください。以前に設定を行っている場合は、設定されているパスワードを入力してください。

新しいパスワード

設定するパスワードを入力してください。ここで入力したパスワードは、管理者(admin)でログインする場合に必要となります。パスワードを忘れたり、不正に利用されたりしないように、パスワードの管理は厳重に行ってください。

なお、パスワードを変更したくない場合は、管理者パスワードと同一のパスワードを新しいパスワードとして設定してください。

(確認再入力)

パスワードの確認用です。新しいパスワードと同一のものを入力してください。

ネットワーク設定画面

LANポート1のネットワーク設定をします。

ホスト名

ホスト名を入力してください。

ドメイン名

ドメイン名を入力してください。

IPアドレス

LANポート1に割り振るIPアドレスを指定してください。

サブネットマスク

LANポート1に割り振るサブネットマスクを指定します。

ディフォルトゲートウェイ

ディフォルトゲートウェイのIPアドレスを指定します。

DNSサーバの設定画面

プライマリネームサーバ、セカンダリネームサーバ(存在する場合のみ)に割り当てているIPアドレスを入力します。

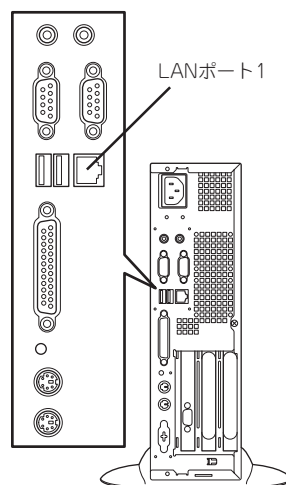
システムのセットアップ

初期導入設定ツールで作成した「初期導入設定用ディスク」を使用して、短時間でセットアップできます。

セットアップの手順

以下手順でセットアップをします。

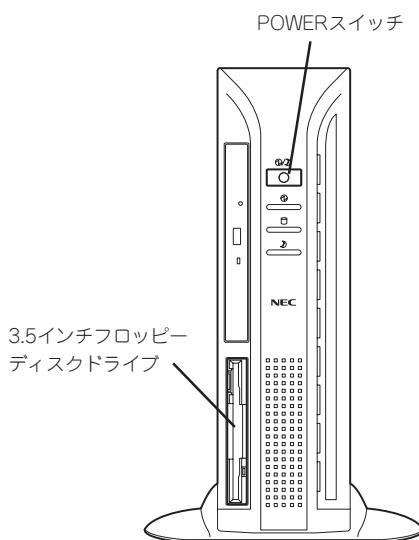
正しくセットアップできないときは、次ページ、および194ページを参照してください。

1. 本体背面のLANポート1にネットワークケーブルが接続されていることを確認する。

2. 前述の「初期導入設定用ディスクの作成」で作成した初期導入設定用ディスクを3.5インチフロッピーディスクドライブにセットする。

3. POWERスイッチを押す。

   POWERランプが点灯します。

   しばらくすると、初期導入設定用ディスクから設定情報を読み取り、自動的にセットアップを進めます。2～3分ほどでセットアップが完了します。

   セットアップを完了したら、「Management Console（3章）」を参照してシステムの状態確認や設定変更を行ってください。

重要

セットアップの完了が確認できたらセットした初期導入設定用ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出して大切に保管してください。再セットアップの時に再利用することができます。

セットアップ

セットアップに失敗した場合

システムのセットアップに失敗した場合は、ビープ音を鳴らしてユーザーに異常を知らせます（自動的に電源がOFF（POWERランプ消灯）になります）。正常にセットアップが完了しなかった場合は、初期導入設定用ディスクに書き出されるログファイル「logging.txt」の内容をコンピュータの「メモ帳」などのツールを使って確認し、再度初期導入設定ツールを使用して初期導入設定用ディスクを作成し直してください。

<主なログの出力例>

■「Info: completed.」

→ 正常にセットアップが完了した場合に表示されます。

■「Info: quitting with no change.」

→ 初期導入設定ツールを使って再度作成せずに、一度セットアップに使用した初期導入設定用ディスクを再使用した場合に表示されます（設定は反映されません）。

■「Cannot get authentication: root」

→ 初期導入設定用ディスク中のパスワードの指定に誤りがある場合に表示されます。

■「Error: invalid file: /mnt/floppy/linux.aut」

→ 初期導入設定用ディスク中のパスワード情報を格納したファイル（linux.aut）が正しく作成されなかった場合に表示されます。

■「Error: cannot open: /mnt/floppy/linux.aut」

→ 初期導入設定用ディスク中のパスワード情報を格納したファイル（linux.aut）が正しく作成されなかった場合に表示されます。

セットアップや運用時のトラブルについての対処を194ページから199ページで詳しく説明しています。

オンラインアップデートの実行

オンラインアップデートは、CacheServerシステムソフトウェアを最新の状態に維持して、最高の機能・性能を発揮できるようにするために必要な手続きです。セットアップ後、再セットアップ後に必ず実行してください。
詳細は、3章の「システムの管理」の「パッケージ」の「オンラインアップデート」を参照してください。

ESMPRO/ServerAgentのセットアップ

ESMPRO/ServerAgentは出荷時にインストール済みですが、固有の設定がされていません。5章を参照してセットアップしてください。

システム情報のバックアップ

システムのセットアップが終了した後、添付の「保守・管理ツールCD-ROM」にあるオフライン保守ユーティリティを使って、システム情報をバックアップすることをお勧めします。システム情報のバックアップがないと、修理後にお客様の装置固有の情報や設定を復旧(リストア)できなくなります。次の手順に従ってバックアップをしてください。

重要

保守・管理ツールCD-ROMからシステムを起動して操作します。保守・管理ツールCD-ROMから起動させるためには、事前にセットアップが必要です。4章を参照して準備してください。

1. 3.5インチフロッピーディスクを用意する。
2. 本体に添付の「保守・管理ツールCD-ROM」から「オフライン保守ユーティリティ」を起動する。

   「保守・管理ツールCD-ROM」の使い方については4章を参照してください。
3. [システム情報の管理]から[退避]を選択する。

   以降は画面に表示されるメッセージに従って処理を進めてください。

続いて管理PCに本装置を監視・管理するアプリケーションをインストールします。次ページを参照してください。

管理PCのセットアップ

本装置をネットワーク上のコンピュータから管理・監視するためのアプリケーションとして、「ESMPRO/ServerManager」と「Management Workstation Application（MWA）」が用意されています。
これらのアプリケーションを管理PCにインストールすることによりシステムの管理が容易になるだけでなく、システム全体の信頼性を向上することができます。

ESMPRO/ServerManagerのインストールについては5章を参照してセットアップしてください。

MWAのインストールについては4章、または保守・管理ツールCD-ROM内のオンラインドキュメントを参照してください。

再セットアップ

再セットアップとは、システムクラッシュなどの原因でシステムが起動できなくなった場合などに、添付の「バックアップCD-ROM」を使ってハードディスクを出荷時の状態に戻してシステムを起動できるようにするものです。以下の手順で再セットアップをしてください。

保守用パーティションの作成

「保守用パーティション」とは、装置の維持・管理を行うためのユーティリティを格納するためのパーティションで、16MB程度の領域を内蔵ハードディスク上へ確保します。
システムの信頼性を向上するためにも保守用パーティションを作成することをお勧めします。
保守用パーティションは、添付の「保守・管理ツールCD-ROM」を使って作成します。詳しくは4章を参照してください。

保守用パーティションを作成するプロセスで保守用パーティションへ自動的にインストールされるユーティリティは、「システム診断ユーティリティ」と「オフライン保守ユーティリティ」です。

システムの再インストール

再インストールを行うと、システム内のすべてのデータが消去され、出荷時の状態に戻ります。必要なデータがシステムに残っている場合、データをバックアップしてから再インストールを実行してください。

再インストールには、本体添付のバックアップCD-ROMとバックアップCD-ROM用インストールディスクが必要です。
「バックアップCD-ROM用インストールディスク」を3.5インチフロッピーディスクドライブに、「バックアップCD-ROM」をCD-ROMドライブにそれぞれ挿入し、POWERスイッチを押して電源をONにします。

ヒント

このとき、背面のシリアルポート2（COM2）に管理PCを19,200bpsの転送速度で接続すると、管理PCからログを参照することができます。

しばらくすると「バックアップCD-ROM用インストールディスク」から設定情報を読み取り、自動的にインストールを実行します。

このとき、確認などはいっさい行われずにインストール作業が開始されるます。十分に注意をしてください。

約10分程度でインストールが完了します。インストールが完了したら、CD-ROMが自動的にイジェクトされます。CD-ROMとフロッピーディスクの両方をドライブから取り出してください。

15分以上待っても、CD-ROMがイジェクトされず、CD-ROMへのアクセスも行われていない場合は再インストールに失敗している可能性があります。リセットして、CD-ROM/フロッピーディスクをセットし直して再度インストールを試みてください。それでもインストールできない場合は、保守サービス会社、またはお買い上げの販売店までご連絡ください。

再インストールの際には、下記のURLを御覧いただけますよう、お願い申し上げます。セキュリティ問題などが常に修正/公開されております。

http://nec8.com/
　　→ケア・サポート
　　　　→ダウンロード

初期導入設定用ディスクの作成

前述の「初期導入設定用ディスクの作成」を参照してください。すでに初期導入設定用ディスクを作成している場合は、パスワード情報の設定のみ再度設定し直してください。ただし、設定内容を変えたいときは、新たに初期導入用設定ディスクを作り直してください。

システムのセットアップ

前述の「システムのセットアップ」を参照してください。

オンラインアップデートの実行

オンラインアップデートは、CacheServerシステムソフトウェアを最新の状態に維持して、最高の機能・性能を発揮できるようにするために必要な手続きです。セットアップ後、再セットアップ後に必ず実行してください。
詳細は、3章の「システムの管理」の「パッケージ」の「オンラインアップデート」を参照してください。

ESMPRO/ServerAgentのセットアップ

「システムの再インストール」でESMPRO/ServerAgentは自動的にインストールされますが、固有の設定がされていません。5章を参照してセットアップしてください。